



富山県（農）富山干柿出荷組合連合会 『干柿を台湾・東南アジア・カナダへ』

【主な品目】

干柿、あんぽ柿

【主な輸出先国・地域】

台湾、香港、マレーシア、タイ、カナダ

【輸出取組の概要】

- ◆ 古くから台湾を中心に干柿をアジア地域へ輸出しているが、令和3年に「富山あんぽ柿共同加工センター」を整備し、高品質で均一なあんぽ柿の増産が可能となったことから、更に輸出量を増加させ販売額の向上を図る。
- ◆ 輸出先のターゲットは、干柿の需要が高い国や地域を考えている。

【輸出実績】

	輸出額(万円)	出荷時期
令和6年	あんぽ柿:4,200 干柿:2,800	10～1月
令和5年	あんぽ柿:3,800 干柿:5,200	
令和4年	あんぽ柿:3,700 干柿:4,000	

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 市場任せの輸出のため、新たな販路開拓が不十分。
- ・ あんぽ柿の賞味期限(出荷から約1か月と短い。)
- ・ 輸出を有利に進めるため、国際的認証等の取得や地理的表示(GI)登録が必要。

【生じた課題への対応】

- ・ 商品・産地紹介のPVや外国語パンフレットを活用し、商品をPR。
- ・ 賞味期限延長に向けた調査、包装資材の改良や冷凍出荷の検討。
- ・ GLOBALG.A.Pの導入、JFS-B認証の順守。

【対応の結果】

- ・ 市場調査の結果、干柿の需要が高い中国系の移住者が多い国に絞り込む方が販売増加になるとの情報を得た。
- ・ 品質調査より、賞味期限の更なる延長が可能との結果を得た。
- ・ 令和2年8月にGI登録。令和3年12月にJFS-Bを取得。
- ・ 令和6年12月にフラッグシップ輸出産地認定。

【今後の課題・展望】

- ・ 引き続き、JETRO等との情報交換や現地調査を行い、市場戦略を検討。
- ・ 中国系の移住者が多い、マレーシア、タイに試験出荷し、あんぽ柿の需要や輸出規制等を調査。
- ・ あんぽ柿の冷凍販売による通年販売を目指すとともに、干柿についても冷凍販売を検討。

【活用した支援・施策】令和3、4、5年度GFPグローバル産地づくり推進事業

【ウェブサイト】 <https://www.hosigaki.jp>

【連絡先】 担当者名:会長 藤井 敏一、TEL:0763-52-0078



カナダでの商談会 1



カナダでの商談会 2